

# 出雲市松くい虫対策・森林再生等 基本方針を策定しました。



急速に松くい虫の被害が進行する中、森林再生に向け、これまでの防除対策を検証し、効果的で市民の総意が得られるような総合的な指針や手法を考えるため、市では、昨年6月に「松枯れ対策再検討会議」を立ち上げ、今年2月に「今後も薬剤空中散布は行わず、樹幹注入、伐倒駆除、特別伐倒駆除を柱とする松くい虫防除対策の実施等」について答申を受けました。

市では、この答申を踏まえ、今後の松くい虫防除対策及び森林・里山の保全・再生をするための基本的な考え方や防除方法や森林再生方法等の技術的な指針を示した「出雲市松くい虫対策・森林再生等基本方針」を策定しましたので、その概要をお知らせします。

今後、市では、この基本方針を広く周知し、これ以上、松くい虫被害が拡大しないよう集中的に松くい虫防除対策を実施するとともに、森林等の保全・再生のため、行政、市民、地域社会、事業者等で連携を図りながら、人が山に入る仕組みづくりを実施します。

## 松くい虫防除対策事業

### (1) 松くい虫防除計画

#### 区域における防除対策

#### ① 防除対策の基本方針

薬剤樹幹注入、伐倒駆除、特別伐倒駆除、抵抗性マツ等の植栽により松くい虫防除対策を実施します。また、一部の海岸林の汀線側にある樹幹注入ができない小径木のマツを防除するため、必要最小限の範囲で薬剤地上散布を実施し、その実施に当たっては、地域住民や関係機関等と十分に安全対策等の協議を行います。

なお、平成20年度以降中止している薬剤空中散布については、今後もその絶対的安全性が確立されるまでは実施しないことにします。

#### ② 守るべきマツ林

#### (松くい虫防除計画区域)の設定

守るべきマツ林を「海岸林のマツ林」、「市民生活に欠かせないマツ林」、「景勝地のマツ林」、「出雲北山地等におけるマツ林」の4つに分類し、それぞれのマツ林に適した防除対策を実施します。

### (2) 松くい虫防除計画区域外 における防除対策

#### ① 公共施設における

#### 松くい虫対策

公共施設における被害調査を実施し、被害の実態把





### 森林再生重点事項

② 松くい虫被害の情報収集強化  
航空機、船舶による海上からの目視調査を実施し、被害の情報収集に努めます。

(1) 松くい虫防除計画区域  
から外すマツ林

適地適木を基本とした針葉樹と広葉樹との混在林づくりを進め、計画的に森林再生を目指します。

(2) 枯損木(松くい虫被害過年度枯れ)対策

出雲北山山地における枯損木を伐倒し、跡地には抵抗性マツ等を植栽します。

(3) 林内路網の整備

市有林を中心に枯損木伐倒や造林木の伐採・搬出のための林業専用道、作業道を積極的に整備します。

(4) シカ対策

出雲北山山地では、シカによる食害も多く、また、土壌浸食による土砂災害等の危険性も懸念されています。特にシカ密度の高い区域では、捕獲と同時に被害拡大防止対策を強化します。



(5) 治山対策

土石流等の危険性のある区域では、その実態を把握するとともに、地元関係者等と情報の共有化を図り、災害の未然防止に努めます。

(6) ナラ枯れ被害対策

ナラ枯れ被害のメカニズム、防除対策等の情報提供に努めます。

(7) 森林資源の集約化

(木材生産団地化)の推進  
市有林だけの施業ではなく、周辺公有林や民有林との一体施業、木材生産団地化を推進し、官民一体となった経営林づくりを目指します。

### みんなで取り組む 森林保全・再生事業

(1) 普及・啓発活動等の推進

保全活動等に関するイベントや広報活動等を積極的に行うとともに、森林や里山を身近に感じられるような普及・啓発活動を推進します。

(2) 市民が行う森林整備・保全活動に対する

財政的・技術的支援の拡充

「21世紀出雲林業フロンティア・ファイティング・ファンド運営協議会」による木材の生産、供給、搬入・搬入、流通、利用促進等に係る事業への助成を継続します。

(3) 荒廃森林・市有林等における市民林業体験活動等の実施

荒廃森林や市有林等において、森林環境教育、健康づくり等の場として幅広い森林利用を推進し、市民参加の森林づくりを推進します。

(4) 出雲市樹医センター及び

樹医との連携強化等  
出雲市樹医センターとの

連携を強化するとともに、その活用について周知を行います。

(5) 森林病害虫

(松くい虫・ナラ枯れ)  
被害対策研修会の開催等

森林病害虫に係る情報提供に努めるとともに、被害対策研修会等を開催します。

(6) 森林ボランティア活動の

推進・育成等  
森林組合等と連携し、森林ボランティアの育成に努めます。



おたずね

森林政策課  
TEL 216996